



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

# わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ

http://waka-kusa.net/

発行  
志津南地区自治連合会  
連絡先  
志津南市民センター  
(公民館) 563-6206

## わが町10大ニュース

地区計画説明会、大多数の理解得る(1月)  
自治連、町並み保存委、草津市の三者が26、27日の両日、地区計画改定に関する住民説明会を開催。一部反対意見はあったが大多数が賛意を示した。

放置の文化財、ようやく撤去へ(10月)  
4日に開かれた「市長とトーク」で、地元から市民センター前の空き地に20年間仮置きされたままの野路製鉄遺跡の木炭窯の撤去を要請、了承を得た。自主防災会が発足、消防と連携図る(4月)  
地区内9町内会にそれぞれ防災会が設置され、自治連、地区自主防災連絡会、西消防分署が連携を密にし地域防災活動に取り組むことになった。

通学時の町内通り抜け禁止を企業に要望(3月)  
かがやき通り渋滞に伴い工業団地方面へ町内を通り抜ける通勤車両が増えたため、児童の安全面から自治連、PTAらが団地企業に通行自粛を要請。

新名神ウォークに南っ子ら60人が参加(2月)  
2月23日の新名神開通を記念した「ハイウエーウォーキング」が9日にあり、南っ子ら約60人が雪の中を田上JCから金勝トンネルまで5kmを歩いた。

第11回夏祭りに過去最高の4000人が参加(7月)  
第11回志津南ふれあい夏まつりが26日、若草中央公園で行われ、人出は過去最高の約4000人。各サークルのステージや模擬店などを楽しんだ。

自治連会長に小野さんを2期連続で選出(3月)  
自治連の20年度総会が23日に行われ、小野栄祐前会長が新会長に選出された。2期連続会長就任は志津南自治連合会が発足してからは初めて。

自治連が桜の苗木を中央公園などに植樹(2月)  
自治連は「桜並木を活かしたまちづくり」で貰い受けたしだれ桜の苗木10本を社協の協力を得て、若草中央公園や調整池などに植樹した。

志津南ホームページがリニューアル(7月)  
自治連の組織改正に伴い発足した広報委員会が所管の志津南HPを衣替え、見やすく検索しやすいレイアウトに改良し1日からサービスを開始した。

左義長に350人が参加、1年の無事祈る(1月)  
正月の恒例行事、左義長が小雪舞う13日、若草中央公園で行われ子どもら約350人が参加、正月飾りや書き初めを炎の中に投げ込み1年の無事を祈った。

### 侵入盗にご用心



## 若草で窃盗事件相次ぐ

### 地域ぐるみで監視の目を

新年に向け何かと気ぜわしい12月、強盗、窃盗事件に備えた警察の歳末特別警戒がスタートしました。過去に侵入窃盗事件が相次いだ志津南地区では交通防犯部会を中心に年末防犯に一層留意するよう呼びかけています。

志津南地区では今年に入って4件の窃盗事件が発生しています。事件は連続したり止んだりしていますが油断のならない状況に変わりありません。

今年1月8日夜に若草1丁目、雨戸がこじ開けられ屋内に侵入されるといふ事件が発生しました。幸い金品の被害はありません。

また若草4丁目では8日の深夜から未明の間に、施錠していた1階勝手口の網戸が破られ、1階廊下に置いてあった手提げかばんが盗まれました。

さらに9日には未明から夕方にかけて、若草2丁目の住宅で無施錠の1階掃き出し窓から賊が侵入、8畳間のコタツの上にな

## 786人が落ち葉清掃



草津市の「散乱性ゴミ一斉清掃の日」に合わせ、志津南地区の秋の一斉清掃が11月23日に行われました。写真。

午前8時30分、参加者786人が清掃道具を手に最寄りの公園に集合、同10時には19カ所の集積場は刈り草や落ち葉が大きな山を築きました。

これに先立って、前日には各町内の役員さん32人が機械作業を中心に各公園の草刈りや低木の剪定などを行いました。おかげで、当日の作業も軽減され、安全面でも配慮いただきました。

残念ながら落ち葉は八分程度集めた後から、ぱらぱらと枯れ葉が、せつかく清掃した路面に舞い落ちていました。

置いてあった財布から現金が盗まれるなど3件の連続窃盗事件が発生しています。

10月以降は鳴りをひそめていますが、「犯罪は忘れたころにやってくる」です。あわただ

しさを増す年末は泥棒にとってかき入れ時。住民一人一人が家と心に錠前をかけるとともに、地域全体が警戒の目を光らせ犯罪防止に努めたいものです。

市民センター年末年始休館

志津南市民センターは12月29日から翌年1月3日まで休館します。

## 社協が「平和祈念講演会」 阪神大震災の救助体験聞く 欠かせぬ地域ぐるみの対応



最初に震災直後の記録を上映し、当時を振り返りながら、いつ、どこで起こるか分からない大震災にどう対応したらよいかを語りました。その中で谷川さんは、大震災発生直後から三日間の救助活動を通しての教訓として「助けられるかどつかの勝負は一日目である」とした上で、「(救助活動には)的確な指示とリーダーシップが求められる」と強調しました。また谷川さんは「生存者のほとんどは近所の人たちの素早い対応によって助け出されている。消防、警察、市職員による救助はその一部に過ぎない」と住民による自主防災の重要性を指摘しました。

さらに「普段から心掛けるべきことは、避難場所や家族間で災害時の安否の確認方法を話し合っておく。携帯電話の場合、通話は不可能でもメールは可能就寝はできるだけ二階で(家屋倒壊で亡くなった人の大部分は一階) 避難対策として普段から飲み水と非常食、懐中電灯、携帯ラジオ。風呂の水は夜抜かずにとめておく。災害時の避難場所のポスターを各家庭内の目立つ所に貼っておく」と留意点を挙げました。

志津南地区社協(上田恒章会長)は11月22日、志津南市民センターで平和祈念講演会を開催、阪神大震災で自ら被害に遭いながら市民の救助と復興に奮闘した谷川三郎さん(元芦屋市建設部長)の体験談を聞きまし

## 社会奉仕で3人が受賞 社福や民児、青少年育成

若草に在住の3人がこのほど、府県知事から表彰された者が対象の功績表彰者として11月7日、生委員・児童委員活動、青少年育成活動が認められ、関係機関から表彰されました。



松本さん 若草3丁目  
の松本孝子さんは22年にわたる民生委員・児童委員活動



奥田さん 若草4丁目  
の奥田隆三さんは、地域福祉への貢献が認められ11月8日、草津市社会福祉協議会の



垣根さん また、若草5丁目の垣根和子さんは長年にわたる民生委員・児童委員として地域活動や学校行事に関わって青少年育成に尽くした実績が評価され、11月22日に開催された青少年育成大会の席上で「市青少年育成指導者賞」を受賞されました。表彰された3人のますますの活躍が期待されます。

を挙げました。災害後の救援復興には広域自治体の支援とボランティアの活動抜きには語れません。

## 和やかにお茶会



秋の日差しに木の葉が一段と色鮮やかな11月22日、市民センターで行われた地区社協主催の平和祈念講演会に合わせてボランティアグループ泉が恒例のふれあいお茶会を開きました。スタッフが持ち寄った庭の花を活け、手作りの抹茶碗、おいしいお菓子をを用意し、地域の皆さんどなたでも気軽に立ち寄り、ただただゆるやかなお席を、「日々新」の気持ちでお迎えしました。写真。

講演を聞き終えた方々も大勢お茶席に立ち寄り、下さり、一

志津南地区でも本年各町内に防災会が出来ましたが、なによりも大切なのは自治連合会、民生委員会、社会福祉協議会など

服のお茶とお菓子で談笑。センター内は笑顔にあふれ和やかな交流する風景がみられました。今後も地域のつながりを深めて

## 親睦深めたGゴルフ大会

志津南社会福祉協議会主催の第4回グラウンドゴルフ大会が11月30日、若草中央公園で開催されました。写真。

心配された前夜の雨も上がり、グラウンドコンディションは上々。52人の参加者が11組に分かれ、各町内上位5人の成績による団体戦と個人戦が行われました。結果は前回連勝を阻まれた若草4丁目が見事に雪辱を果たし、面目を保ちました。また個人戦でも若草4丁目の奥田隆三さんが1打差で逃げ切り優勝しました。

新しい出会い、交流を深めながら互いにプレーを称えるなど楽しいひと時を過ごしました。成績は次の通り。

優勝 若草4丁目 団体

各団体と連携した住民支援活動が欠かせないことを、この講演から学び取ることが出来ました。(自治連防災担当 江口孝)

いただくようふれあいの場へお越しください。(ボランティアグループ泉)

- 準優勝 若草3丁目 3位 若草8丁目 個人
- 優勝 奥田隆三さん (4丁目)
- 準優勝 中野 操さん (2丁目)
- 3位 小早川勝康さん (3丁目)





# 高齢者宅へおにぎり 児童が収穫の新米で



康推進員さんたちに教わりながらふんわりしたおにぎりをつくりました。  
児童たちはパックにつめた後

志津南小学校5年生44人が10月30日、新米おにぎりに手紙を添えて地域の独り暮らしの高齢者宅を訪問しました。  
新米は今年5月、児童たちが学校近くの田圃で農家の指導を受けて田植え、秋に収穫したお米です。この日、家庭科室で健

## 体振がソフトボールとワン・ツー大会

### ボールの行方に一喜一憂



訪問先あてに心をこめた手紙をしたためました。  
その後、児童たちは5班に分かれて独り暮らしの高齢者宅を訪問。笑顔に迎えられ、ちよっぴり緊張気味だった児童たちの顔もやわらいで言葉を交わすなど、和やかな交流風景が見受け

志津南地区体育振興会は「さつ健・交デー」の11月23日、志津南小学校グラウンドでソフトボール大会を、体育館でワン・ツー・シュート大会を実施しました。  
晴天で寒さも緩み、快適なスポーツ日和となったこの日、応援も含め各町内から男女合わせて約350人が参加、大いに盛

られました。  
後日、独り暮らしの高齢者の方から学校に「みなさんが愛情こめて育てた新米だそうで早速夕食にいただきました。とてもおいしく感激しました」などと記した礼状が届きました。  
(民児協)

り上がりました。

11回目となるソフトボール大会「写真左」は、各チームとも一丸となって声を掛け合い、ボールを追い、打ち、白熱した熱戦を繰り広げました。

また、第3回を迎えたワン・ツー・シュート大会「写真上」は、赤・白のボールをカゴに入れて得点を競うという気軽さから幅広い年齢層の方が参加しました。  
ボールを相手チームのカゴに



入れてしまえば相手の得点となるこの競技、投じられたボールに敵も味方も一喜一憂、大いに盛り上がりました。  
大会にご協力いただいた若草ソフトボールクラブはじめ、お世話いただいた皆さんにお礼申し上げます。  
成績は次の通りです。

- ソフトボール大会
  - 優勝 若草8丁目
  - 準優勝 若草2丁目
  - 3位 若草5丁目
  - ワン・ツー・シュート大会
  - 優勝 若草5丁目
  - 準優勝 若草6丁目
  - 3位 岡本町西
- (志津南地区体育振興会)

## 発電所とエコプラザ見学

### 南っ子が暮らしの環境学ぶ

秋の行楽シーズン真っ只中の11月8日、「わんぱくプラザ南っ子」の子ども24人、大人8人が関西電力南港火力発電所とATCグリーンエコプラザを見学しました。  
午前中は発電所で、電気の造られたかたや環境にやさしい発電とはどのような仕組みなのか、案内のお姉さんから説明を受けて実験をいくつか体験したあと、バスで発電所構内を見学しました。  
午後は、同じ南港地区にあるATCグリーンエコプラザで環境問題に取り組んでいるさまざまな企業の展示ブースを見学。学習用の設問シートを使ってエコマークがついている商品を探し、大切な環境を守るために



発電所で説明を聞く参加者

- 12月17日(水) やすらぎ学級 13:30~17:00
- 12月20日(土) ふれあいミュージックソン 2008 13:00~21:00
- 12月21日(日) ふれあいサロン(歌い継ぎたい日本の歌) 9:00~12:00
- 12月24日(水) 教養文化講座(ENJOY MY LIFE) 13:30~15:30
- 1月5日(月) 子ども会書初め大会 9:00~12:30
- 1月9日(金) ふれあい昼食会 12:00~13:00 定例健康相談日 9:30~12:00
- 1月11日(日) 若寿会:月例会 13:00~16:00
- 1月12日 左義長 9:30~11:30 若草中央公園
- 若寿会
- ・健康ウォーキングは毎月第1・3土曜日
- ・奉仕作業は第4土曜日
- ともに8:45中央公園集合
- 印の会場は志津南市民センター(公民館)です。

# サクラ万歳

たつたのは草月流  
滋賀支部会員の林  
田早苗さん。

草月流は従来の

空間にやすらぎと憩いをもた  
らす生け花は日本人の生活に密  
着したアートといえる。古くは  
万葉集、枕草子にも登場する。  
池坊、未生流、草月流などおも  
な流派だけでも24あり、日本生  
け花協会に登録の流派は392  
にのぼる。そして華道人口は2  
千万人を超えるといわれている。  
わが「花いちもんめ」(久保  
敦子代表)もその一員である。  
幼稚園の保護者会の有志が声を  
掛け合って平成10年、志津南公  
民館オーブんと同時にサークル  
としてスタートした。指導に当

型にはまった生け花に疑問を持  
た勅使原蒼風が1920年、新  
たに流派を起こした。彼の前衛  
的でモダンな生け花は一世を風  
靡した。

その流れを汲むだけに、花い  
ちもんめの生け花も自由闊達、  
個性にあふれている。花だけで  
なく竹や針金、のこぎり、かな

「このサークルは冗談を言  
いながら、世間話をしながら花を生  
ける。これが親しみやすさ、溶  
け込みやすさを生み、世代を超  
えて仲良く活動できていること  
につながっているのかも。イン  
ターネットを見て入会した人も  
いる」と話す久保さんの言葉は  
歯切れがいい。

## 個性たつぷりの生け花

### 花いちもんめ

指導に当  
づちも使う。一応、テキストが  
中心だが、それにしぼ  
られず感性  
を發揮でき  
る。林田さ  
んも自主性  
を最大限に  
尊重するよ  
う心がけて  
いる。

この日は  
サンザシを  
中心とした  
洋花と格闘  
していた。  
大半が若  
い頃に多少

とも生け花に接した経験がある  
40〜70代の女性たちの稽古風景  
は、門外漢が想像するような  
「しずしずと花を生ける」、い  
わゆる華道のイメージとは異な  
り、会話が飛び交い、まことに  
にぎやかである。時折り「先生  
ちょっと」と声がかかると、林  
田さんがアドバイスをあくる。  
そんな時は全員が駆け寄って

こり。始めてから一年という山  
元順子さんは「自分の作品は家  
に飾り付けデジカメに撮ってス  
クラップ帳に残している」と努  
力家ぶりを披露。

市民センターのモダンな容  
姿「がお気に召して」「ここで  
ひ教室を」とおもったという講  
師の林田さんは「線、色、固ま  
りの3要素の組み合わせだが、  
(作品づくりは)10分できる  
ことも、うまくいかない時もあ  
る。このサークルは、いろんな  
レベルの人がいるのに、そんな  
ことに関係なく、活気があつて  
楽しんでくれている。それが大  
きな特色かな」と締めくくって  
くれた。

「花いちもんめ」という控え  
めなサークル名に似つかわしく  
ないはつらつさにあふれたサー  
クルである。

## にぎやかにおしゃべりしながら生け花を楽しむ



この日は  
サンザシを  
中心とした  
洋花と格闘  
していた。  
大半が若  
い頃に多少

「この日は  
サンザシを  
中心とした  
洋花と格闘  
していた。  
大半が若  
い頃に多少

「この日は  
サンザシを  
中心とした  
洋花と格闘  
していた。  
大半が若  
い頃に多少

「この日は  
サンザシを  
中心とした  
洋花と格闘  
していた。  
大半が若  
い頃に多少

代表	久保 敦子
会費	18人
活動	月2回(第2、第4水曜)
場所	日午前9時30分~12時
会場	志津南市民センター(公民館)
会費	月額3600円
連絡先	久保代表
電話	(567)8604

風が吹くたび、ひらり「葉すり」。  
風に飛ばされた色とりどりの木  
の葉が吹き留まりに積もります。  
掃いても、  
掃いても、  
掃いても、  
秋の風情は満  
喫できるものの、場所がアスファ  
ルト舗装だったり、雨が降った  
りすると滑りやすくて危険です。  
かがやき通りの路肩や歩道も  
落ち葉がいっぱいでしたが、地  
域の一声清掃で片付けていただ  
きましたので、ひとまず安心で  
すね。

「ありがとうございます」。  
きれいになったところで、年  
末恒例のミュージックソンを12  
月20日に計  
画していし  
ます。

志津南市民センター(公民館)  
(市民センターN)

## 公民館に菊の香り



秋たけなわの11月中旬、志  
津南市民センター(公民館)  
の入り口に大玉の菊花と懸崖  
の菊がお目見え、しばしの間、  
来館者の目を楽しませました。  
若草3丁目の前田知徳さん  
が展示したもので、白、  
黄、薄紫の三種の大菊  
18株と赤、白の懸崖2  
株の計20株。  
いずれも前田さんが  
丹精込めて育て上げた  
逸品ぞろい。11月の風  
景に溶け込んで秋の名  
残に彩りを添えていま  
した。

曇りがちな  
空の色も、頬  
にあたる風も、  
めつさり冬ら  
しくなつてき  
ました。

「ありがとうございます」。  
きれいになったところで、年  
末恒例のミュージックソンを12  
月20日に計  
画していし  
ます。